

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

(別紙2-4)

法人名	有限会社 いなすず	代表者	鈴木 修一	法人・事業所の特徴	田園風景に囲まれ、1つの家族のような家庭的な支援を心掛けている。一生青春一生感動を理念に、何歳になっても生き生きとした生活を送れるよう、食事や外出に楽しみを見出し、様々なレクリエーションを企画している。 小規模多機能型居宅介護の特性を生かし、利用者1人1人に柔軟な対応をとっている。
事業所名	いなすず御隠居亭	管理者	関口 利佳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	人	1人	1人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			出来ている点・出来ていない点は、記載されているが、改善点が抽象的になっている。具体的な改善計画を求める。	職員にわかりやすく、また利用者の生活に反映させられるような改善計画を立てていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			環境等に関しては、特に問題ない。玄関の鍵閉めは、職員全体が虐待と認識しており、いつでも誰でも自由に出入りができるような状態にしている。	この項目については、一定のレベルを達成しているので、今年度の改善計画は作成しませんが、室温の調整はよりきめ細かく行うようにする。
C. 事業所と地域のかかわり			法人で行う祭り等には、地域の方々の参加を得ている。	行政や地域の催しの情報を把握し、参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			各地区の民生委員を呼んで、地域の情報などを聞いてもよいのではないか。	民生委員の方々の協力を得て、地域のイベントや情報を把握していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議では、事業所の取組みを写真等で分かりやすく説明している。 地区の高齢者の事例検討は、必要なのか？という疑問が上がる。	同一法人のグループホームや地区の民生委員とともに、地区の高齢者世帯などの情報を把握し、共有していく。
F. 事業所の防災・災害対策			防災計画等の作成はしているが、説明がなされていない。 また、災害等が起きたときに支援者をピックアップしておくことも必要と思われる。	防災計画をよりわかりやすく、作成し、運営推進会議で説明する。 地区のなかで、組織団が作られているので、協力を仰げるように、声掛けをして行く。